

日本非破壊検査協会(略称・J S N D I)の会長に就任した坂真澄氏(東北大学教授)に話を聞いた。

＊

——資格試験はいまだ難しすぎるとの声があるが。

坂 耳に入っている。片

方が人が正しいことを話し



坂 会 長

坂 真澄・J S N D I新会長

資格試験をじっくり検討

協会に「サロン」のような場も

ており、別の立場の方もその人として正しいことを話している気がする。両者の意見が反対の場合、協会と

率を保てとの立場と問題の質を保てとの立場で相反する。関係者とじっくり検討していかなければならない。

で開催される。大きな国際会議だからまず成功させて、J S N D Iを世界にアピールしたい。ヨーロッパで開かれる国際会議へ

出席すると、企業の人々の発表がけっこう多い。ところが、日本の会議で企業からの発表はまだ少ない。製品そのものの名前を出して発表はできないが、一種の宣伝に使う意味で参加してもらいたい。

——会長任期中に公益法人の申請を行うのか。

坂 公益法人化では大方の準備は前執行部が作っており、それをベースに作っていくのが新執行部の使命。会長任期中に申請を出す計画だが、今から準備をして、申請前に総会に諮らなければならぬ。任期中にそこまでするか、実際にやってみてのことになる。

——「協会を楽しい場」との意向だが。

坂 他団体では、同じ趣味を持つ人が集まって興味のある話をし合って刺激を受ける「サロン」のような交流の場を設けている。協会も同志の集まりらしく楽しい雰囲気になるといい。

——趣味は。

坂 特にないが、若いときは硬式テニスをやってきた。最近はそうした余裕もなく、朝、散歩する程度だ。

(出身・三重県、1953

年12月6日生まれ)

してどちらかでないかざるを得ないので、反対側の人に迷惑をかけるケースも出てくる。合格率の話も、合格

——国際会議へ企業参加。

坂 来年11月、第13回アジア・太平洋非破壊試験会議(APCNDT)が横浜

まだ少ない。製品そのものの名前を出して発表はできないが、一種の宣伝に使う意味で参加してもらいたい。

——「協会を楽しい場」との意向だが。